

会議録

会議の名称	第5回子ども・若者審議会「子ども・若者の権利の観点」からの評価・検証専門部会
開催日時	令和8年1月6日（火曜日）午前9時30分から
開催場所	田無庁舎2階202会議室
出席者	委員：小野部会長、小林委員、島崎委員、辻委員、林委員 事務局：遠藤子ども若者部長、菱川子ども若者応援課長、宮田子ども若者応援課子ども若者計画係長、越川子ども若者応援課子ども若者計画係主任、須藤子ども若者応援課子ども若者計画係主任、高橋子ども若者応援課子ども若者計画係主事
議題	1 議題 (1) 子ども・若者ワイワイプラン令和7年度事業の子ども・若者の評価等について (2) 子ども・若者ワイワイプランの「子ども・若者の権利の観点」からの評価・検証方法についての中間報告書（案） 2 その他
会議資料の名称	資料1 「子ども・若者の権利の観点」から評価・検証するテーマ（施策・事業）等について 資料2 子ども・若者ワイワイプラン基本方針1及び2に基づく重点的な取組の一覧 資料3 令和8年度ワイワイトーク企画案 資料4 （仮）西東京市若者ミーティング事業の流れ（詳細） 資料5 子ども・若者の権利の観点からの評価・検証方法についての中間報告書（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 議題</p> <p>(1)子ども・若者ワイワイプラン令和7年度事業の子ども・若者の評価等について 事務局から資料1、資料2に沿って説明</p> <p>○小野部会長： 意見等はあるか。</p> <p>○島崎委員： 9月にフィードバックを行い、1月にフィードバックした内容をどのように市の施策や事業に反映したかを振り返るといふ予定だが、短期間で市の施策や事業に反映できるのか。</p> <p>○事務局： 想定としては、9月は子どもの意見を受け止めた旨を伝え、1月は今後の予定を子ど</p>	

もに伝えることを考えている。

○小野部会長：

「反映したのか」ではなく、「反映するのか」に修正いただきたい。

○林委員：

ワイワイトークは、毎年実施する予定なのか。

○事務局：

毎年実施する仕組みづくりを検討中である。

○林委員：

テーマも毎年度変更するのか。

○事務局：

その予定である。

○小野部会長：

令和6年度の子ども会議では、子ども条例市民講座において意見交換会を行ったので、1月に予定しているフィードバックの振り返りは問題なく実施できると思う。

評価・検証するテーマは、子どもの意見表明の充実について、意見等はあるか。

○辻委員：

評価・検証を毎年度続けていくうえで、子どもの意見表明というテーマは理解しやすく、最初のテーマにふさわしいと思う。

○小林委員：

よいテーマだと思う。

○小野部会長：

全体について子ども・若者に評価してもらうが、若者については市の取組の詳細を説明してから、今年度実施した事業を評価してもらおうとよいと思う。市が計画していない取組についても意見をもらえたらよいと思う。

資料2に田無第三中学校周辺エリアの出前授業を実施しているとあるが、出前授業は実施しているのか。

○事務局：

資料2は年度当初に各担当課が予定している情報を記載しているため、実施状況については、今後調査する予定である。

○小野部会長：

若者会議では、事業の実施予定と実績の両方を提示するのか。実績だけを見て評価するのでは、若者からの評価も異なると思う。

- 事務局：
実績だけを提示予定であり、実施した取組を評価してもらいたいと考えている。
- 小野部会長：
令和8年度の取組予定は若者会議で提示するのか。
- 事務局：
現時点では検討中である。
- 小野部会長：
若者会議は令和7年度の取組予定と実績、令和8年度の取組予定を提示した方がよいと思う。
市が予定していたができなかった理由を知りたいと思うし、ワイワイプランの長期的な目標をふまえて、昨年度の実績を重点的に評価してもらうのはどうか。子どもと若者で提示する資料が異なっても問題ないと思う。
評価・検証するテーマについて、「意見表明」でご異議ないか。
- 各委員：
異議なし。
- 小野部会長：
子どもの声を聞く方法について、ワークショップ、アンケートを予定しているが、アンケートの実施にあたり、5月の子どもの日の市報に子どもの権利の説明を載せるという話があったが、進捗を伺いたい。
- 事務局：
現在担当課と調整中である。
- 小野部会長：
アンケートを実施するうえで、対象と実施方法について今後議論する必要があると思うが、2月の会議でよろしいか。
- 事務局：
2月以降に議論いただきたいと考えている。
- 小野部会長：
乳幼児から意見を聞く方法について、突然知らない大人が訪れると驚かせてしまうと思うので、普段関わっている保育士がワークショップを開催するなどの方法がよいと考えている。詳しい方法については今後検討していきたい。
- 辻委員：
昨年は出張ワイワイトークがあったが、令和8年度は実施しないのか。今年のテーマが意見表明であるためか伺いたい。

○事務局：

出張ワイワイトークはワイワイトーク当日に参加できなかった子どもの意見も聞く目的で開催しており、各施設で行うアンケートがこれに代わる手段になると考えている。

○小野部会長：

アンケートの対象年代にもよるが、なるべく全世代をカバーできるとよいと思う。

7月頃に実施とあるが、ワイワイトークの開催後に実施するのか。

また、ワークショップ、アンケート、乳幼児の聞き取りなどに、専門部会員は訪問したほうがよいのか。

○事務局：

ワイワイトークにはご参加いただきたいと考えている。

○小野部会長：

乳幼児の聞き取りに関しては、参加したければ訪問してもよろしいか。

○事務局：

保育園の都合もあるため、確認する。

○小野部会長：

若者会議については、参加してもよいのか。

○事務局：

希望があれば見学いただけるよう調整する。

○林委員：

今年出張ワイワイトークを実施しないが、外国にルーツを持つ子どもや、不登校の子どもがアンケートにたどりつくのか心配であるため、出張ワイワイトークも数か所で実施した方がよいと思う。アンケートの趣旨を出向いて説明するだけでもよいと思う。

○小野部会長：

外国にルーツを持つ子どもが集まるイベントは市内にあるのか。

○事務局：

多文化共生センターがイベントを開催している。

○辻委員：

ひばりが丘中学校では日本語教室を毎週実施しており、子どもが参加している。

○小野部会長：

北町と柳沢でぼくルームの活動があるので、多文化共生センターとひばりが丘中学校も含めて、出張ワイワイトークの実施を検討するのはどうか。

- 小林委員：
若者会議のメンバーが訪問するのもよいと思う。
- 小野部会長：
出張ワイワイトークに武蔵野大学の学生が協力しているので、若者が訪問するのはよいと思う。
ひばりが丘中学校の日本語教室は、夏休み期間中も開催しているのか。
- 辻委員：
開催していないと思う。
- 小野部会長：
フィードバックを9月に予定しているのであれば、夏休み前に出張ワイワイトークを実施する必要がある、7月中の実施がよいのではないかと。
ぼくルームは定期的に開催しているのか。
- 島崎委員：
柳沢で月2回程度、北町で月1回程度実施している。
- 小野部会長：
事務局には、多文化共生センター、ぼくルームとの日程等を調整いただきたい。
フィードバックは、ワイワイトークに限定して行うのか、それとも出張ワイワイトークや日常保育での活動なども含めるのか伺いたい。
- 事務局：
意見をくれた子ども本人に担当課長からコメントを返すというのがフィードバックの本旨であるため、ワイワイトークを主に想定しているが、アンケートなどの不特定多数の子ども意見についても、市ホームページなどでコメントを返すことを考えている。
- 小野部会長：
すべての子どもにコメントを返すのであれば、フィードバックの日程を後ろ倒しにしてもよいと思う。
ワイワイトーク、出張ワイワイトーク、アンケート、乳幼児からの聞き取りを7月中に行うことは日程的に難しいため、出張ワイワイトークを9月に行い、フィードバックを10月に返すのはどうか。
- 事務局：
ワイワイトークに参加した子どもにはなるべく期間を開けずにフィードバックしたいと考える。
- 小林委員：
10月初旬は、子どもが中間テスト期間で忙しく、フィードバックのコメントを見逃してしまうのではないかと。フィードバックの日程をずらしてはどうか。

- 小野部会長：
フィードバックの内容は、すぐに閲覧できない状態になるのか。
- 事務局：
フィードバックは市ホームページなどで公表する予定であり、すぐに公開終了する予定はない。
- 小野部会長：
ワイワイトークに参加した子どもには、フィードバックを郵送するのか。
- 事務局：
その予定である。
- 小野部会長：
昨年、フィードバックを各児童館、各学校に掲示したのか。
- 事務局：
児童館は掲示した。
- 小野部会長：
令和8年度は学校にも掲示できたらよいと思う。
- 辻委員：
校長会などで依頼いただければ、学校も協力できると思う。
- 小野部会長：
各小中学校、高校に掲示できると、イベントの存在を知るきっかけになり、来年度の参加者増加にもつながると思う。フィードバックの送付先に学校を追加いただきたい。
小学生用と中学生用で文面を変えた方がよろしいか。それとも、小学生が分かる文面であれば中学生にも問題ないか。
- 小林委員：
中学生は小学生用の文章を読まないかもしれないため、文面を変えて掲載した方がよいのではないか。
- 辻委員：
可能ならば分けたほうがよいと思う。
- 小野部会長：
表面は小学生用と中学生用で分けて作成し、中身は同じでもよいのではないか。
- 辻委員：
ポスターは大きく掲示されていれば目につくと思う。

- 小野部会長：
 昨年は、冊子でフィードバックを行ったのか。
- 事務局：
 子どもひとり一人には冊子で郵送し、児童館には1枚のポスターを掲示した。
- 小野部会等：
 ポスターは小学生用と中高生用で分けることを検討いただきたい。
 市ホームページにあるキッズページの充実状況はどうか。
- 事務局：
 令和8年度にホームページのリニューアルを予定しており、引き続き、充実に向けて検討したい。
- 小野部会長：
 子どもが見た時に、子どもに関することが全部分かるページがあったらよいと思う。
- 島崎委員：
 子どもの日の市報で子どもの権利の説明を広報していただけたら、その市報も小中学校に貼っていただきたい。学校でも家庭でも目にしたほうがよいと思う。
- 事務局：
 市報の記事の大きさについては調整中である。学校に掲示できるよう調整したい。
- 辻委員：
 記事が小さい場合は、該当箇所を大きくカラー印刷したものを配布いただきたい。
- 小野部会長：
 子どもは市報を読むか。
- 小林委員：
 子どもの時は読んでいないと思う。
- 小野部会長：
 学校にも掲示できるよう調整いただきたい。
- 事務局：
 資料3、資料4に沿って説明
- 小野部会長：
 意見等あるか。

○林委員：

資料3の2.取組のポイントに、「純粋な意見を引き出せるよう」とあるが、「対象世代に近い大学生が」に変えた方がよいと思う。

保護者が安心できるよう、子どものセーフガーディングや子どもとの接し方に配慮することも記載したことなど、子どもの権利の観点からも記載した方がよいと思う。

○小野部会長：

ワイワイトークの企画案と募集チラシにその旨を記載いただきたい。

また、当日参加する大学生は、子どものセーフガーディングについて署名している。

○林委員：

1日目にキャンパスツアーを実施するが、開催が猛暑の季節であるため、熱中症対策の配慮もしていただきたい。

参加者には記念品などを用意する予定なのか。

○事務局：

参加証明書を渡す予定である。また、オリジナルグッズを検討中である。

○小野部会長：

5月から募集開始だが、専門部会員はいつ頃確認できるのか。

○事務局：

2月頃に確認いただきたい。チラシの最終確定は4月を予定している。

○小野部会長：

次に、若者会議について意見等はあるか。

○小林委員：

対象が高校生年代以上であるが、卒業間近の中学3年生にも周知したらどうか。

募集時期が3月中旬と中学生の卒業時期と重なるため、中学3年生も関係すると思う。

○小野部会長：

3月中旬は卒業時期に重なるため、日程を前倒した方が、参加者が集まりやすいかもしれない。

中学校の卒業式はいつか。

○辻委員：

3月19日である。

○小野部会長：

卒業式の時期を考えると、3月初旬から募集開始できるとよいと思う。

- 小林委員：
始業式も考えると、募集期間が学校の春休みに被っており、対象者の目につきにくいのではと思う。
- 小野部会長：
3月1日から広報できたらよいと思う。
- 事務局：
募集時期について調整する。
- 小野部会長：
チラシ、ポスターの設置場所について意見等はあるか。
SNSの広報は、どのような方法を考えているのか。
- 事務局：
XとLINEを予定している。
- 小林委員：
有償であるが、インターネット広告はどうか。
- 小野部会長：
周知媒体については検討いただきたい。
募集の締め切りが4月中旬とあるが、いつまで延ばせるか。
- 事務局：
当初は、3月15日から4月15日までを募集期間と設定し、4月の最終週頃に第1回の開催を予定していた。募集期間については再度調整する。
- 小野部会長：
若者会議のメンバーは募集期間が終了してから確定するため、突然、第1回の会議開催通知がくることになる。
若者会議の日程を決めたうえで広報するのか。それとも参加者が決定するのか。
- 事務局：
現在検討中であるが、日程は事前に決めたいと考えている。
- 小野部会長：
募集チラシにも記載するのか。
- 事務局：
募集チラシには、初回の会議開催日を記載し、以降の日程は集まったメンバーの予定を調整して決めたいと考えている。

- 小野部会長：
ポスターかチラシの片方を選択して広報を行う予定か。
- 事務局：
設置場所に合わせて両方を使用する予定である。
- 島崎委員：
駅に設置するのはどうか。
- 事務局：
有償であるため難しい。
- 小林委員：
市営駐輪場の掲示板はどうか。
- 事務局：
以前担当課と調整したが難しい。
駅のペDESTリアンデッキは市の所有物であるため、このようなものを活用する方法もあると考えている。
- 小野部会長：
NPOなどの団体に協力をお願いし、NPO団体のインスタグラムで広報してもらうのはどうか。
子ども食堂には若者が関わっていたり、市がネットワークを持っていたりするので、市内の子ども食堂をお願いするのもよいと思う。若者はフェイスブックを利用していないと思うので、インスタグラムの方がよいと思う。
- 島崎委員：
中学3年生にチラシを配るのはどうか。
- 辻委員：
配ることは可能だと思う。
- 島崎委員：
中学校卒業の時に配布するのもよいと思う。
- 小野部会長：
市内の高校に配るなど高校生に注力したほうがよいと思う。
- 島崎：
市内在住でないと応募できないのか。

- 事務局：
市内在住、在学、在勤を予定している。
- 小林委員：
ポスター案のデザインはよいと思う。謝礼の金額を具体的に書いた方がよいと思う。
- 小野部会長：
よいデザインだと思う。ポスターを見た時に若者会議の内容も分かるとよいと思う。
ポスターには二次元コードを記載し、若者会議のホームページに飛べるとよいと思う。
またチラシには、裏面に若者会議の詳細を記載するとよいと思う。
- 辻委員：
「西東京市職員と意見交換!?!」ではなく、「西東京市職員と意見交換！」にしたほうがよいと思う。
- 林委員：
募集期間は記載しないのか。
- 事務局：
修正する。
- 小野部会長：
具体的な開催日とフィードバックの日程も記載した方がよいと思う。
若者会議の名称についても議論した方がよいか。
- 事務局：
若者会議の名称は、専門部会員の意見も聞いたうえで、最終的には会議に集まったメンバーで決めていただきたいと考えている。
- 辻委員：
ポスター案の「市職員と意見交換」は仰々しく感じてしまう。「西東京市が若者の意見を聞きたいらしい。君の意見がまちづくりに反映される！」の方が柔らかく感じる。
- 小林委員：
柔らかい表現の方が参加者は集まりやすいと思うが、「市職員と意見交換」という文言を入れた方が挑戦的な人が集まりやすいと思う。
- 小野部会長：
学生にデザインを見せた時は、公務員志望の人は馴染みのある自治体に限らず市職員の話を知りたいと思うから、「市職員と意見交換」という文言を入れた方がよいと言っていた。
若者会議の名称は、若者会議のメンバーに決めていただきたいと思う。

- 林委員：
仮称は、若者会議か若者ミーティングのどちらかで統一した方がよいと思う。
- 小林委員：
どちらの名称でも参加しやすさは変わらないと思う。最近はカタカナ語を使うことが多いので、漢字の方がインパクトを感じるかもしれない。
- 林委員：
若者会議も毎年行うのか、またメンバーも毎年変えるのか。
- 事務局：
毎年行う予定である。任期は、現在検討中であるが、全員入れ替えではなく一部のメンバーが残って先輩として引き継いでいければ、若者中心の会議体にできるのではないかと考えている。
- 林委員：
一期生募集など毎年変わるというニュアンスが伝わるとよいと思う。
- 小野部会長：
新しい取組という意味でもよいかもしれない。
- 事務局：
本日のご意見をふまえて修正する。
- (2)子ども・若者ワイワイプランの「子ども・若者の権利の観点」からの評価・検証方法についての中間報告書(案)**
資料5に沿って説明
- 小野部会長：
資料5のP2の「2.(2)子どもの評価」に、子どもの意見を聞いて、改善できたこと、できなかったことのフィードバックを行った旨も追記した方がよいと思う。
また、P2の「3.(2)評価・検証の組織の課題について」、評価・検証を行う組織等の課題や組織のメリット・デメリットの記載部分を具体的に記載し、評価・検証する優先順位や方法について検証する旨も具体的に追記いただきたい。
- 林委員：
若者の評価・検証を行う組織にも読み取れるので、子ども・若者の評価・検証を行う組織であることがわかるように修正いただきたい。
- 小野部会長：
子どもの個人情報の取り扱いについても記載した方がよいか。子どもの個人情報を扱うのは、主にワイワイトークであるか。

○事務局：

テーマが「相談」になると個人情報が含まれる可能性があるが、相談内容の細かな内容を評価の対象や指標として扱うことはないと思う。

子どもがどの事業に参加しているかも、個人情報になる。

○林委員：

P4の「4.今後の検討内容について」に記載したらよいと思う。

○小野部会長：

「個人情報の取り扱いについても今後まとめることにする。」に修正いただきたい。
2月の専門部会で最終版を確認するのか。

○事務局：

次の審議会に報告して確定した内容を、2月の専門部会に報告する。

○林委員：

「市長への手紙」も子どもの意見表明の一種であると思う。全世代が対象の意見表明の機会だとしても、子どもの意見表明の取組に記載した方がよいと思う。

○小野部会長：

「ほっとルーム」も子どもが自分の気持ちを伝えられるので、子どもの意見表明の機会に含めたらどうか。

○事務局：

子どもの意見表明に含まれる部分もあるが主に相談事業のため、記載していない。

2 その他

○事務局：

次回の専門部会は、2月5日を予定している。

○小野部会長：

令和7年度第5回子ども・若者審議会「子ども・若者の権利の観点」からの評価・検証専門部会を閉会する。

以上